

科目名	野球の技術と科学Ⅱ	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学部	□必修 ■選択	
			総合政策学部	□必修 ■選択	
英文表記	The Art and Science of Baseball Ⅱ	開講年次	□1年 ■2年 ■3年 ■4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 ■集中		
ふりがな	こいずみ けん	実務家教員担当科目		修得単位	4単位
担当者名	小 泉 健	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	野球を科学的に捉えて、成功するための実践的な学習をする。				
到達目標	野球の技術を向上させるとともに、自ら考える力を育成する。また、野球の指導者になるために必要な知識・教養を習得する。				
授業概要	科学的根拠に基づいたトレーニングを研究・実践するほか、スポーツと心理学や生理学、栄養学、管理学等の関連についても学ぶ。				
授業計画					
第1回	授業の概説		第16回	実習のデータを踏まえた自己分析	
第2回	理論と演習 - 発展 (守備の技術と科学)		第17回	実習 (実戦含む)	
第3回	理論と演習 - 発展 (ピッチングの技術と科学)		第18回	実習 (実戦含む)	
第4回	理論と演習 - 発展 (打撃の技術と科学)		第19回	実習 (実戦含む)	
第5回	理論と演習 - 発展 (走塁の技術と科学)		第20回	実習 (実戦含む)	
第6回	実習 (実戦含む)		第21回	実習 (実戦含む)	
第7回	実習 (実戦含む)		第22回	実習 (実戦含む)	
第8回	実習 (実戦含む)		第23回	実習 (実戦含む)	
第9回	実習 (実戦含む)		第24回	実習 (実戦含む)	
第10回	実習 (実戦含む)		第25回	実習 (実戦含む)	
第11回	実習 (実戦含む)		第26回	実習 (実戦含む)	
第12回	実習 (実戦含む)		第27回	実習のデータを踏まえた自己分析	
第13回	実習 (実戦含む)		第28回	人生における野球Ⅱ	
第14回	実習 (実戦含む)		第29回	運動における生理学的な神経の動きⅡ	
第15回	実習 (実戦含む)		第30回	運動に及ぼす心と栄養の影響Ⅱー心理学的な見地から見るー	
		第31回	後期定期試験		
授業時間外の学習	与えられたテーマについて事前に十分研究するとともに、野球の技術と科学Ⅰを通して明確になった自らの課題を解決するため、自主練習をしっかりと行ってください。				
履修条件 受講のルール	大学硬式野球部員と一緒に練習を行いますので、次の履修条件があります。 ○高校卒業時まで硬式野球チームに所属し、「硬式」での経験がある方。 ○大学硬式野球部のスケジュール (日々の練習等) に合わせて活動できる方。 ○野球の技術の向上を強く望み、トレーニング・研究を続けている方。 ○野球の技術と科学Ⅰの単位を修得した方。				
テキスト	授業資料時に資料を配布します。また、必要に応じて授業で提示します。				
参考文献・資料	適宜配布します。				
成績評価の方法	実習 (実戦含む : 50%)、定期試験 (30%)、レポート及び課題 (20%) として総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	授業終了後				

成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	自分自身や過去を振り返ることによって、自分の能力のほとんどが使われていないことを知ってください。考え方を考えることによって、いろんな可能性が開けてきます。思考の持っている力を理解していただきたいと思います。